

地方独立行政法人青森県産業技術センター  
 第二期中期目標期間終了時見込業務実績評価書（案）概要

1 全体評価	
○評価 <u>中期目標を達成していると評価。</u>	
2 項目別評価	
(1) 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上 (本県産業の未来を支える試験・研究開発の推進と成果の移転・普及)	5 : 特筆すべき状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 工業部門では、県産野菜等の機能性成分の分析・加工方法やプロテオグリカン関連物質特許の複数出願、書換え可能な電子回路であるFPGAを用いた紙枚数計数機の計算速度の高速化など、各研究の成果を基に県内事業者による商品化に貢献</li> <li>② 農林部門では、水稻品種「青天の霹靂」の開発、人工衛星を使用したリモートセンシング技術の開発、水稻V溝乾田直播栽培技術の開発などに取り組み、「青天の霹靂」の安定生産や直播栽培の普及拡大に貢献</li> <li>③ 水産部門では、アカイカの漁場予測システムの実用化に取り組み、平成28年度、予測に基づく試験操業結果の提供により、記録的不漁が続く冬場におけるアカイカの漁獲量の回復に貢献</li> <li>④ 食品加工部門では、地サイダーの開発、青いりんごジャムの開発、県産黒にんにくの統一基準づくりなどに取り組み、商品数の拡大や黒にんにくの品質向上に貢献など各部門とも特筆すべき成果を上げていると評価。</li> </ul>	
(2) 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上 (産業活動への総合的な支援)	4 : 中期目標を達成
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 依頼試験・分析・調査及び設備利用・機器貸出に関して、目標値を大幅に上回ることなどを評価。</li> </ul>	
(3) 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上 (試験・研究開発の取組状況等の情報発信)	4 : 中期目標を達成
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 約1年間にわたる地元紙でのコラム連載による試験・研究成果の紹介など、活動内容のPRに積極的に取り組んでいることなどを評価。</li> </ul>	
(4) 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上 (緊急事態への迅速な対応)	4 : 中期目標を達成
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「高病原性鳥インフルエンザの発生」に際して、県との業務連携協定の内容以上に迅速かつ積極的に対応し、事態の収束に貢献したことなどを評価。</li> </ul>	
(5) 業務運営の改善及び効率化	4 : 中期目標を達成
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各取組が着実に実施されていると評価。</li> </ul>	
(6) 財務内容の改善	4 : 中期目標を達成
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各取組が着実に実施されていると評価。</li> </ul>	
(7) その他業務運営	4 : 中期目標を達成
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各取組が着実に実施されていると評価。</li> </ul>	